

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2022/11/18

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.85	0.09
JPY/THB	0.2557	-0.0006
USD/JPY	140.20	0.70
EUR/THB	37.17	-0.02
EUR/USD	1.0362	-0.0033
USD/CNH	7.148	0.040
SGD/THB	26.08	-0.03
AUD/THB	23.98	-0.13
USD/INR	81.63	0.33
USD Index	106.69	0.41

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.343	-0.002
10Y (THB)	2.730	-0.019
5Y (USD)	3.937	0.087
10Y (USD)	3.766	0.076

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,763.0	-12.8
WTI (Oil)	81.64	-3.95
Copper	8,110.0	-183.5

Stock

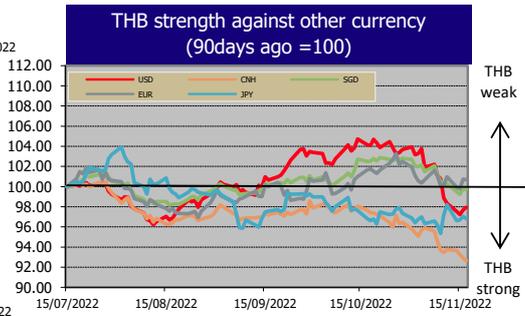
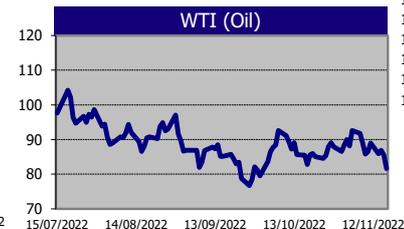
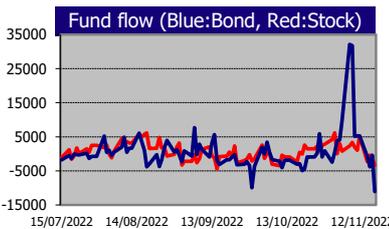
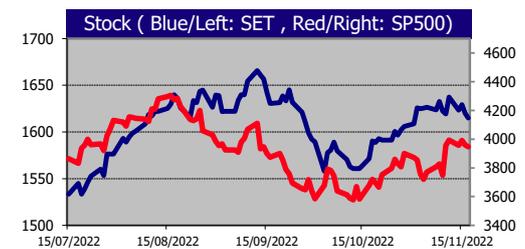
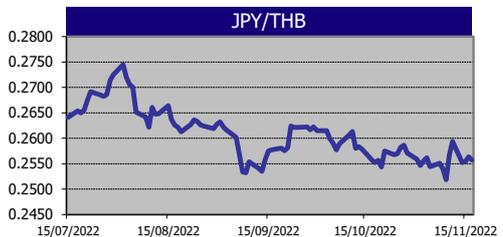
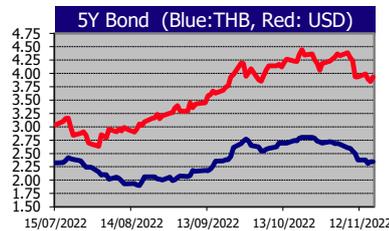
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,614.95	-5.03
NIKKEI (JP)	27,930.57	-97.73
DOW (US)	33,546.32	-7.51
S&P500 (US)	3,946.56	-12.23
SHCOMP (CN)	3,115.44	-4.55
DAX(GER)	14,266.38	32.35

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,324)	-1952.4
Bond net flow	(11,077)	-10632.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に上昇した。35パーツ後半でスタートしたドルパーツは、前日に続き軟調な推移を見せる人民元に連られる格好で序盤から上昇基調に。海外時間に入り、米国の金融政策について、ブラード・セントルイス連銀総裁が「十分抑制的な政策金利について5-7%程度になる可能性」と発言したことがタカ派と捉えられ、ドル高が進行する展開に、ドルパーツは一時36パーツ台に乗せる場面を見た。ただ、その後発表された米11月フィラデルフィア連銀景況指数が市場予想を大きく下回る結果となると、ドルパーツも徐々に上げ幅を縮小させ、結局35.85レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇した。139円台半ばでスタートしたドル円は、特段新規材料が見当たらない中、同水準での推移が継続。バンコク時間終盤には一時139円割れの水準まで下落する場面が見られたものの、すぐに買い戻され上昇する展開に。海外時間に入り、Fed高官の発言がタカ派と捉えられる中、140円台後半を付ける場面を見たものの、その後発表された米経済指標の軟調な結果に140円台前半まで下落し、結局そのまま140.20レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週の相場を振り返ると、16日に発表された米10月小売売上高の強い結果や、ポーランドへのミサイル着弾に係る地政学リスクの一時的な高まり等、ドル買いの強まりが想定される場面はいくつかあったものの、パーツや円を巡る相場は比較的落ち着いたものとなった。14日(月)から17日(木)までの対ドルでの変化率はTHBが+0.06%、JPYが-0.22%となっている。

係る中、気になるのは相次ぐFed高官の発言とその内容である。16日にウォラー理事が「利上げ幅を0.5%に縮小することをより心地よく検討できるようになった」と発言した一方、昨日、ブラード・セントルイス連銀総裁は「インフレを鈍化させるため、金融当局は政策金利を最低でも5-5.25%に引き上げるべき」と述べている。Fed高官の思惑に温度差を感じ得る状況ではあるが、次回12月13日-14日に予定されているFOMCまでにその内容を解釈し、その過程で相場も変動していくことが想定される。来週も複数のFOMCメンバーの発言が予定されていることに加え、前回(11月1日-2日)のFOMC議事要旨の公表も予定されている。まだまだ気の抜けない状況が続きそうだ。(末廣)